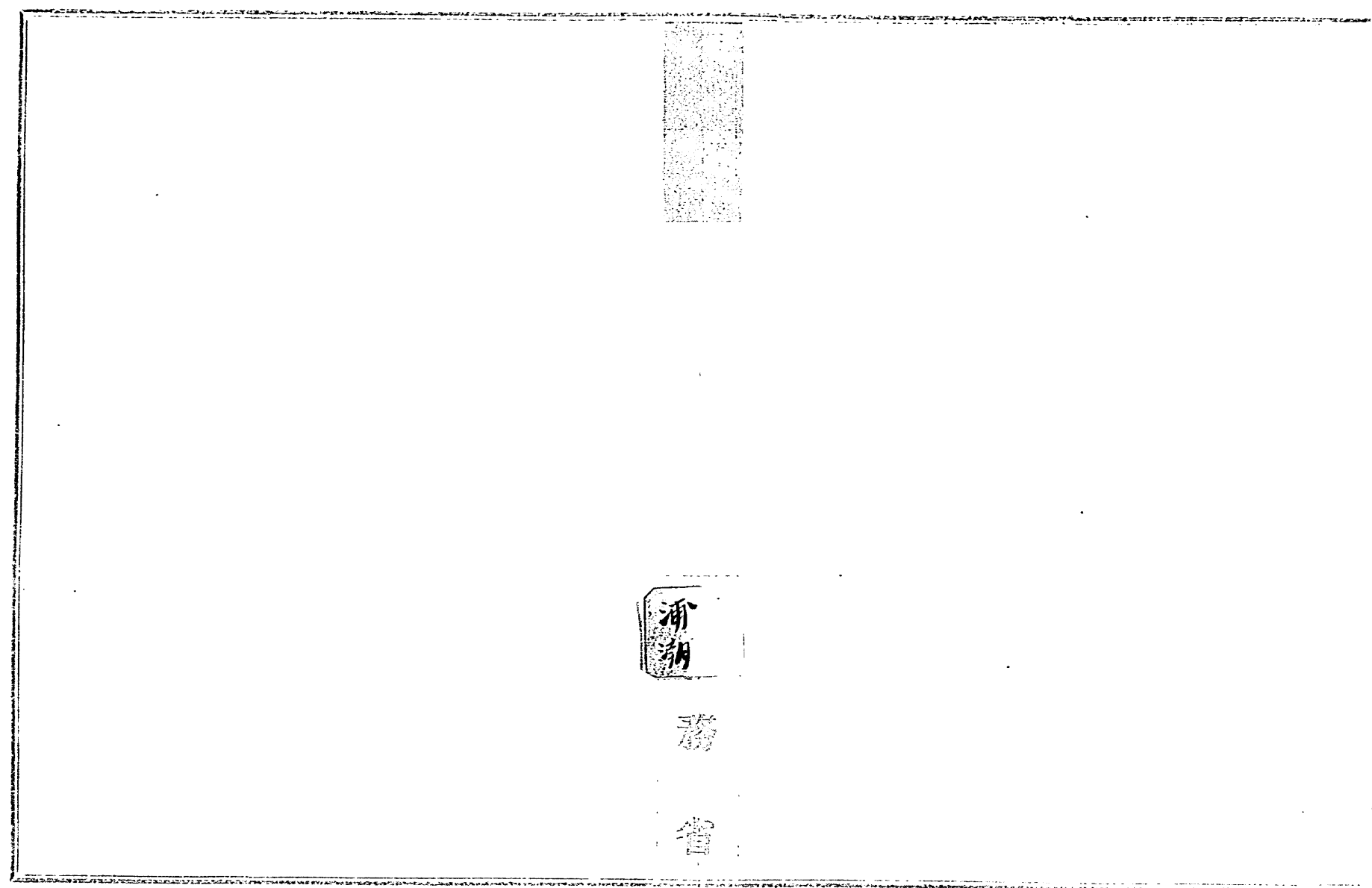




3-0888

0130

文書課長

大正五年參月拾四日接受

49

附屬書類添附

大正五年參月拾四日接受

商第一課

公第 六

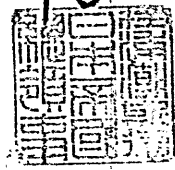
大正五年三月六日

第05736號

通商局長

大正五年參月拾四日達濟

在浦潮斯德
總領事代理野村基信



外務大臣男爵石井菊次郎殿

大藏省
送第

千九百一十一年露王金融狀況ニ関スル報告書
發行財政商工雜誌記事抄譯上別紙
一通リ茲ニ差進候間中査閱相成度以段
申進候敬具

大正五年三月十四日記録第二部接受

在浦潮日本總領事館

千九百十五年ノ露國金融狀況

(財政商工雜誌)

千九百十五年ノ露國金融市場ハ戦争ノ直接影響ヲ受ケタルカ就中貸出ノ緊縮割引証券ノ減少巨額ノ軍事公債ノ發行外國貨幣ノ暴騰等其最モ重ナルモノナリ開戦當時ニ現ハレタル市場ノ警戒ハ其後又引キ續キ戰時トテ恢復セズ又他ノ一面貨物輸送組織ノ不備ハ需要中心地ニ於ケル物資ノ缺乏ヲ來セ爲メニ貸出ハ特ニ制限セラル取引ハ殆ト總テ現金ニ限リ行ハルニ至レリ地方ニ於テハ從來六ヶ月

在浦潮日本總領事館

乃至九ヶ月ノ延取引ヲ以テ首都ノ卸商ヨリ貨物ノ仕入ヲ爲シ居タルカ現金ニテ前拂ヲナシ之カ仕入ヲナサハルハカササルニ至リ其結果手形ノ市場ニ現ハルモノ著ク減少シ尚從來主トレケ手形ニ依リ取引ヲナシ來レル波蘭工業地方敵軍ニ占領セラレ爲メ自然手形ノ減少ヲ誘致セリ手形ノ減少ハ千九百十五年初頭ニ割乃至一割五分ナリニ至ルモ約五六割ニ上レリ供給ノ緊縮需要ノ減退ハ又短期預金ニ依ル運轉資金ノ需要ヲ制限シ資金ノ潤澤トナリ爲メ私立銀行側ニ於テハ割引歩合ノ引下ヲナスニ至レリ故ニ尤ニ示ス

カ如ク千九百十五年ニ於ケル私立銀行側割
引歩合ハ比較的の低率ニアリキ

一月五分七厘五毛	二月全上
三月五分五厘	四月六分
五月六分	六月六分
七月六分	八月六分二厘五毛
九月六分	十月五分七厘五毛
十一月五分八厘五毛	十二月五分八厘五毛

莫斯科ニ於テハ手形市場廣汎ニモテ且ツ
金融活潑ナルヲ以テ資金金ハ一層低率ニ
供給セラレ其歩合ハ多クノ場合ハペトログラド
ニ比シ五厘乃至七厘五毛方低カリキ帝國

在浦潮日本總領事館

銀行ノ公定歩合ハ三月ノ手形ニ對シテハ六
分六ケ月ノモノニ對シテハ六分五厘ナルニ鑑ミル
トモハ斯ノ如キ低率ナル私立銀行ノ歩合
ハ手形再割引上帝玉銀行ニ對スル負債
ノ大ナルサルヲ知ルニ足ルヘシ

露玉ハ戰費補償ノ為メ各種ノ公債ヲ
發シタルカ其種別金額左ノ如シ(單位百萬留)

千九百十四年

一 内玉市場

(一) 長期公債

十月三日勅令ニ依ル五分利付

五〇〇

(二) 短期公債

(イ) 八月二十日勅令ニ依ル四分利付玉庫債券三〇〇

(一) 外國貨幣 二 外玉市場 小計 五、七五〇		(二) 短期公債 (一) 四分利付玉庫債券 三月二十七日勅令ニ依ル 三〇〇 八月十七日 二五〇 (四) 五分利付大藏省證券 自外四回 至外十二回 (勅令附 二月六日、三月二十七日、六月十八日、七月十五日、八月三十日) 二七〇〇 (本年發行總額五〇億中ヨリ償還總額三三億ヲ差引キタル額)		(一) 長期公債 二 外玉市場 小計 千九百十五年 一 内玉市場 二月六日勅令ニ依ル五分利付 五〇〇 四月二十四日 五分五厘利付 一〇〇〇 十月二十八日 一〇〇〇		(四) 五分利付大藏省證券 第一回 (勅令附 七月十三日、十月十六日、十月三十日) 一三〇〇 小計 二一〇〇 五分利付大藏省證券 十月六日、勅令ニ依ル 一 十二月十六日 四〇 小計 五二 百萬磅		(一) 外玉市場 小計 五〇 百萬磅 三〇	
-----------------------------------	--	---	--	--	--	--	--	-----------------------------------	--

在浦潮日本總領事館

(一) 特ニ命名セサル債務
三月十三日勅令ニ依ルモノ
六二五 百萬法

(二) 露國貨幣
特ニ命名セサル債務
四月十六日勅令ニ依ルモノ
二〇〇 百萬留

十月九日
小計
五、五〇〇
總計露貨
一、三六二
英貨
八〇 百萬磅
佛貨
六二五 百萬法

金融ハ主トシテ戰時紙幣ノ増發ニ依ル影響ヲ
受ケタリ大藏省證券割引ノ差ヲ増加セル結
在浦潮日本總領事館

果實銀行ハ巨額ノ紙幣ヲ發行シ千九百
五十年中二回マテ全銀行ノ紙幣發行權ハ
擴張セラレタリ其ハ三月十七日十五億留ヨリ
二十五億留ニ其ハ八月二十二日二十五億留ヨ
リ三十五億留ニ増加セラレタリ上記大藏省
證券ノ紙幣發行ニ及ボス影響ノ度ヲ
緩和セラルル為メ十月十三日ヨリ帝銀銀行
ハ民間資金ノ吸收ヲ始メタリ其後大藏省
證券ノ割引増加ハ停止シ十二月ニ減少ノ
傾向サヘ認メラレタルヲ以テ見ヒ右ノ處置ハ
相當ノ效果ヲ收メタルモノトス
次ニ露國政府ハ正貨準備増加ヲ圖ル為メ
千九百十四年
外金ノ外國輸出ヲ禁止シ

十月五日勅令及千九百十五年六月五日及同月二十六日
大藏省令、補足トシテ發布セラルタル千九百
十五年九月十四日閣令（第三二帝國銀行ニ
金、愛國的納納ヲナサシメ）（七月上旬ヨリ初マ
リ年末ニ至ル）第三二公定相場ニ依リ外國
貨幣ヲ兩換シ（初メ五月十九日國債局ヨリ
公告ニ其後定時之ヲ繰返シタリ）第三四官立金
製造所及ペトログラド造幣局ヲ經テ國庫ニ
納入シタル金ニ對シ三割ノ獎勵金ヲ交付スル
コトニシタリ（千九百十五年九月十四日及十月十四日閣
令及同年十月二十四日大藏省令）之カ結果ト
シテ帝國銀行ノ正貨準備ハ増加スルニ至レ
リ補助貨幣ニ關シテハ昨年中八月十七日

在浦潮日本總領事館

ペトログラドニ恐慌起リ其後戰場トノ距離
及避難民ノ數ノ如何ニ依リ各地ニ於テ
恐慌ヲ來セリ補助貨ハ甚タ不足セル
之ニ對スル多數ノ準備金屬ノ缺乏ト造
幣局ハ一時ニ必要額ノ鑄造ヲ行ハザル
トニ依リ之ヲ補足スル爲メ千九百十五年九月
二十五日閣令及同月二十八日大藏省令ヲ以テ
兌換切手ヲ發行セルカ補助硬貨ノ代用
トシテ其効果充分ナラサルヲ認メ財政委員
會ハ兌換券發行ノ件ヲ決定シ十一月十
三日裁可ヲ經タリ右ノ兌換券ハ十二月六日
閣令ヲ以テ十二月下旬ヨリ發行セラル、ニ
至レリ

開戦當時ニ於テ既ニ初マリタル外國貨ノ騰貴ハ千九百十五年更ニ一層其甚シキヲ加ヘタリ

倫敦

巴里

九月	四〇・五	一三・五	二〇・九	一四・四
八月	三六・五	一三・五	二〇・五	一〇・〇
七月	四八・一	一三・六	二〇・一	一七・五
六月	三三・五	一二・二	二二・五	二〇・〇
五月	二四・五	一二・五	二二・一	二〇・〇
四月	二〇・一	一二・四	二二・〇	二〇・七
三月	二四・五	一二・三	二二・〇	二四・五
二月	二五・五	一〇・五	二二・五	二一・〇
一月	二七・五	一〇・五	二四・〇	二一・〇
一九一五年				

在浦潮日本總領事館

國債局ハ千九百十五年五月四日ニ至ルマテ外國貨幣ヲ十磅ニ對シ百五留ノ相場ヲ以テ提供シ居タルカ其後百二十留ニ引上ケタリ右ノ如クニ之ヲ五債局カ對時中交付セル金額ハ十二億留ニ上リタリ而シテ市自治團體ニ對シテハ戰爭終了後一年ヲ經テ償還スルノ條件ヲ以テ交付セタリ

(終)

附屬書類添付

大正五年五月十五日接受 通商第二課

公第九九號

大正五年五月八日

通商公報
大正五年
第三十九號
揭載

在浦潮斯德
總領事代理 野村基信

外務大臣男爵石井菊次郎殿

通商公報

第1門 第1類 第1項

大正五年
五月九日
在浦潮斯德日本總領事館

露國政府ノ對外為替調節機關
設置ニ関スル報告ノ件

露國政府ハ今般對外為替關係ヲ調節スル
為メ國債ニ關スル大藏大臣特別官房附屬
トシテ外國貨決済課ナルモノヲ設置スタルニ
付右機關ノ組織ニ關スル調査別紙ノ通り
茲ニ及送付候間由査閣相成度此段申進候敬具

在浦潮斯德日本總領事館

對外為替調節機關

露國政府は在外正貨賣放の手續及外國
 貨幣ノ相場ヲ一定シテ對外為替關係ヲ
 調節スル為メ露曆本年一月二十五日ヨリ國債
 二萬五千萬大藏大臣特別官房附屬トシテ外
 國貨決濟課ナルヲ開設セルが大藏省發
 行財政商工雜誌ノ報ズル所ニ依リ同決濟
 課ハ一方ニ於テ右特別官房及帝國銀行ノ
 代表者及他ノ一方ニ於テ民間ノ銀行、マ
 ト稱スル取引所仲買人監督、手形交換所
 員及私立銀行代表者ヲ以テ組織セラル
 祭日ノ外毎日集會ヲ催シ毎日ノ外國貨
 幣相場ヲ定ム其相場ハ銀行ノ外國貨取引
 全部ニ適用シ規定ノ相場以上ノ率ヲ以テハ
 何人ト雖トモ取引ヲナスヲ得ザルコトセリ銀行
 ハ決濟課ニ對シ毎日外國貨幣ノ需給額
 並ニ外國貨幣ノ残高ニ關シ届出ヲナスノ
 義務ヲ負ヒ若シ或ル銀行ニ外國貨ノ餘
 分アル場合ニハ決濟課ノ勘定ヲ以テ之ヲ
 外國貨欲立ノ銀行ニ振替ハ銀行ハ個人ノ
 需求ニ應ズル必要アル場合ニ限リ他ノ銀行
 ヨリ外國貨ヲ買フコトヲ得ルモ之ヲ轉賣
 シ若シクハ自己將來ノ為メ買置ヲナスコト
 ヲ得ズ又獨立シテ露貨ヲ賣リ以テ外國
 貨ヲ取得スルコトヲ得ズ尚又大藏大臣ノ許

大正五年五月廿九日記録第二部 陸軍省

在浦潮斯德日本總領事館

可ナクモテ外國ヨリノ指圖ニヨリ内國ニ於テ外國
貨ヲ買入ルコトヲ得ズ
決濟課ノ集會ハ、ベトログラトニ於テノ開催セ
ラル、モノナルヲ以テ同市以外ニアル銀行ハ、ベトログラ
トニ於ケル其代理者ヲ通ズルニ非ザレバ外國貨
ノ取引ヲオスヲ得ズ又仲買人ハ決濟課ニ參加
聯合セル銀行ノ手ヲ經ザレバ外國貨ノ賣買
ヲオスヲ得ズ尤モ各銀行ハ、貳千圓以下ノハ
口取引ニ限リ獨立ニ之ヲ賣買スルコトヲ得
相場ノ差額ヲ得ルコトヲ目的トスル仲介業ハ
禁止セラレ唯買手アルモ賣手ナキ特殊ノ場
合ニ限リ之ヲ許スコトナリ
開戦以來國防ノ為メニ作業スル企業ニ對
シ外國貨ヲ供給スル為メニ設ケラレタル陸軍省
内特別委員會モ右決濟課ト同時ニ同様
ノ事業ヲ行フモ右委員會ハ軍需品購入
ノ場合ニ限リ外國貨幣ヲ賣リ放ツモ其額
ニ制限アリ而シテ決濟課ニ參加聯合セル
銀行ハ陸軍省内委員會ノ用ニ供スル外
國貨ヲ賣ルコトヲ得ズト
決濟課ノ決定ニ依ル賣相場尤如シ(單位留)

	一定相場	露曆月	二月一日	二月十五日	三月一日	三月十五日	四月一日
英貨十磅	九百五十五	五九〇〇	一五二〇〇	一四九〇〇	一四九〇〇	一四九〇〇	一四九〇〇
佛貨百法	三、四九八	五、〇〇〇	五、四九〇	五、三三〇	五、三三〇	五、三三〇	五、三三〇
瑞貨一	三、〇〇〇	六、五五〇	六、五五〇	六、五五〇	六、五五〇	六、五五〇	六、五五〇

在浦潮斯德日本總領事館

現在支拂^付が爲し得べし既^に後^の之を以て証券を交換券と交
換せ得べし尤も政府は市場より戦幣ヲ吸收し物價ノ暴落ヲ
制し露貨賣格ノ上幅ヲ期せしが爲メ不成^ハ在^ル露方ノ流通シ
希^乏之にか普及ノ方法ヲ講じてアリト次ニ金融市場ヲ
觀^るに過放制度を以て外國向露貿易禁止令實施以來本
邦未國等より當地ニ出張せる汎進員或は支取欠其ノ如
ノ爲メニ露幣ヲ收領ハストリ得ざらん之ナラズ亦亦義ノ款
金ヲモ爲し得ずルコトナリタレ自己ノ義ヲ以テ預金セザん
限り是ニ半許^ス現金ヲ此種外ナク今ヤナリ多額
ノ現金ヲ抱キテ處理ス窮^乏なるナリ尤も昨今北滿洲ニ于
テ穀類ノ買付時機ニアリタル爲メ露貨ノ需要増大自
然露貨は全地方ニ吸收せられてアルモノ如シ其結果在ナギガニ
通債ノ缺乏ヲ感ぜり當地ニ昨今益々其メ不足ヲ感じ市
中ニ戰慄ノ念運到者ヲ待ケテアリ

在浦潮斯德日本總領事館

在浦潮斯德日本總領事館

件 外國為替取止に關スル
露、部ニテ

外
務
省

3-0888

0144

外國貨配給手続、
件、

外務省

3-0888

0145

附
添附

大正六年九月廿五日 通第一課

受25868號

第一八六
大正六年九月十七日

在浦潮斯德
總領事 菊池義郎

外務大臣法學博士子爵本野一郎殿

通商公報
第六二七號

外貨供給と海運の件

通商公報
第六二七號
第1項
第2項
第3項
第4項

大正六年九月十七日
大正六年九月十八日
大正六年九月十九日
大正六年九月二十日
大正六年九月二十一日
大正六年九月二十二日
大正六年九月二十三日
大正六年九月二十四日
大正六年九月二十五日
大正六年九月二十六日
大正六年九月二十七日
大正六年九月二十八日
大正六年九月二十九日
大正六年九月三十日

在浦潮斯德日本總領事館

紙

一、外貨配給手続

外國貨配給手続

今般外國貨配給ニ関シ、事、外國貨運送ノ爲メ必要ナル
 船腹及鉄道輸送具ノ供給ト調和シ、統施行セラ
 ルコトナレリ政府ハ此ヲ法律ニ依リ外國貨配給ニ一切ノ
 取引禁制ヲ總テ貨物輸入ノ可能如何ニヨリ外國貨
 配給ノ事宜ニ適セルヤ否ヤリ調査ハ、外國貨配給同
 課ノ解決ハ陸軍省外國品供給本部及工業課附屬
 各省連合委員會ニ任テ分轄シ、前者ハ國防用貨物ノ
 輸入對スル許可ヲ與ヘ、且該貨物買入ノ爲メ必要ナル
 外國債票ヲ給シ、後者ハ私的高工業ノ爲メ外國ニ於
 テ購入セラル貨物輸入ノ許可ヲ与フ

外國ニ於ケル他財政的債務ノ償却及私人生活費送金
 ノ爲メ必要ナル外國債票ハ大藏省爲替課ニ於テ取扱フ

在浦潮斯德日本總領事館

尚敵國ニ在ル者及被抑者并敵國占領地ニ於
 テ送金ノ爲メ外國貨配給ノ許可亦同課ニ於テ取扱フ

外國爲替ノ實行ハ大藏省金融官房外決清課
 ニ之ヲ集中ス

大正六年十月廿五日記錄第二部接受

別紙

クレディット・ヤ・カン・ツ・ボリ・ヤ

特別金融官庁附設水海運規程

第一條 一九二六年六月二十日付政府命令ニ基キ

郵政決行ノ為メ外國ニ在ル人及団体ヲ監視スル

其代表者ノ勘定ハ郵便局ニ對シ監視ヲ付スル爲メ特

金融局長官ヲ附シテ外幣兌換規程ヲ設ケ

決行課ニ大務者(金融局長官及主務官)一、商工部

會計検査院、トモテ取引所事務委員會ヲ

代表者ヲ以テ組織スルハ大務大臣ノ許可ヲ得テハ

ラト取引所事務委員會ノ代表者ヲ以テ組織

申シ大務大臣ノ許可ヲ得テハ其代表者ヲ以テ

行ノ金融者ヲ加セシム

第二條 水海運業務委員會ハ金融官庁ニ附テ週ニ四回以上行

第三條 決行課ノ業務ハ外國外幣兌換規程ヲ定メ其

在浦潮斯德日本總領事館

相場此上ヲ以テ本位價ヲ取リテ行ハントシ禁止ス

決行課ハ前田實業會社後銀行(中込)係ル一切取

履行ニ對シ之ヲ適用セシム

第四條 相場官ハ業務上ノ多數決ニ由リ但可成回數ナシカモ大

務者代表者ノ意見見異ナルトキ大務大臣決行課ヲ

ス

第五條 決行課ニ在ル者ノ事項ハ

ハ人及団体ノ請願ニ依リ外主務官位價事務委員會

以外主務官位價事務委員會代表者ノ

勘定ハ郵便局及有價証券ノ拂込多許可

ハ或ハ郵便局事務委員會ニ對シ外國外幣兌換規

程決行課不足ニ感ゼルハ郵便局事務委員會

第六條 決行課ハ外國外幣兌換規程ヲ決行

大正六年十月十六日

大正六年十月十六日

全國對露貿易聯合會 謹陳情書

曩ニ露國政府ハ外國爲替ノ取組ヲ絶對ニ禁止スル共ニ
露債ノ海外流出ヲ制限シタリ右ノ禁止制限ハ在外露債ノ
低率ヲ防止スル上ニ於テ多少ノ効果アルヘシト期待セラレタルニ
拘ラス國內ノ政變險惡ナルニ連レテ露債ハ却テ非常ノ
暴落ヲ來タシ禁止制限令ノ發布セラレテ以來僅々
ニヶ月間ニ十二割以上ノ低率ヲ示シ殆ント底止スル所ナキ狀
態ニ立到リ之カ爲メ對露輸出貿易ハ殆ント杜絶ノ窮狀
ニ陥リタルノミナラス個人貨物ニ對スル在露日露貿易業者
ノ所持スル露貨送金ノ途全ク絶エ加フルニ露國ニ於テ抱
擁スル貨物ハ販賣價格ノ標準ヲ失シテ之カ處分ニ窮シ
一面本邦ニ於ケル代金支拂ノ期日ハ刻々ニ迫リ之カ決

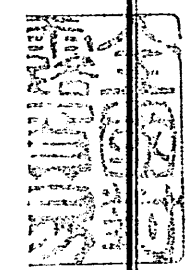
全國對露貿易聯合會

濟方法トシテ僅ニ長春、哈爾濱ニ於テ換算送金センカ
露貨ヲ不當ノ安價ニ處分セザルヘカラス
此ノ如キ狀態ノ下ニ於テ巨額ノ未決濟額ヲ有シ若クハ相當
ノ注文ヲ既ニ引受ケタル本邦商人ノ困憊實ニ甚シク資力薄
弱ナルモノハ相踵テ倒産スル窮況ニ陥レリ莫クハ別紙ノ方法
ヲ決行シテ以テ對露貿易業者ノ困難ヲ救濟セラレシユ
トシ茲ニ謹テ陳情候也

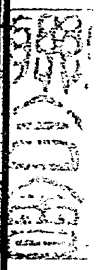
大正六年十月十六日

全國對露貿易聯合會
會長 錦野吉二

外務大臣子爵本野一郎殿



事務場
公室



一、日本政府ハ在露日露貿易業者ノ所有ル露貨及ヒ
未済金凡ソ三千四百萬圓ヲ露貨ニテ相當ハ換算率ヲ以
テ圓拂露國大藏省證券ヲ發行セシメラレタキコト
一、露國政府ハ本組合ヨリ提出ル明細書ニ據リ本組合員ニ
送金スヘキ金額ヲ前記換算率ヲ以テ在露日露貿易業
者ヨリ露國政府ノ指定ル銀行ニ拂込マシメ其ノ拂込ヲ
了シタルトキハ之ニ相當スル金額ノ圓拂露國大藏省證券
ヲ本組合員某々ニ拂渡スヘキ旨ヲ在日本露亞銀行支店
ニ命令書ヲ交付セラレタキコト
但シ此ノ命令書ハ電報ヲ以テ露國大使館ヲ經テ
通知セシメラレタキコト

全國對露貿易聯合會

横濱大阪神戶東京對露貿易代金未決済額明細書

總額 金貳千貳百八拾貳萬叁百四拾七圓

各地別總額

横濱 金九百貳萬七千貳拾五圓

大阪 金八百零叁萬七千叁圓

神戶 金四百叁拾叁萬貳百六拾九圓

東京 金百貳萬五千九百五拾圓

(大阪神戶 金貳百七拾壹萬貳千六百貳拾圓)

横濱商業會議所内

全國對露貿易聯合會

横濱對露貿易代金未決済額明細書

一、總額 金九百〇貳萬千七百貳拾五圓

内譯

- 一、現品引渡済 金四百六拾九萬千七百貳圓
- 二、輸送中ノモノ 金參百參拾六萬五千參百八拾五圓
- 三、既約定品ミシテ 金九拾七萬。六百四拾貳圓

個人別明細表ノ通り

横濱對露貿易代金未決済額個人別明細表

商店名	現品引渡済	輸送中ノモノ	既約定品	合計
原輸出店	三三九〇、〇〇〇	二四一〇、〇〇〇	—	五八〇〇、〇〇〇
松浦吉松	四〇〇、〇〇〇	四一八、二二二	—	八一八、二二二
熊澤喜太郎	四〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	—	九〇〇、〇〇〇
小林桂助	四七三、五二二	—	—	四七三、五二二
梅原米治良	二二五、〇〇〇	五三六、三三三	—	七六一一、三三三
野澤組	七〇〇〇	一三、五〇〇	—	一四、二〇〇
東洋輸入商會	—	二〇、〇〇〇	—	二〇、〇〇〇
安藤嘉七	—	六〇三〇	—	六〇三〇
橋本徳三郎	—	二二六、九〇〇	—	二二六、九〇〇
			計	九〇二、七二五

横濱對露貿易代金未決済額品別明細表

品別	現品引渡済	輸送中(毛)	發送準備中(毛)	計
綿糸	三二二、〇〇〇	一一五、六二〇	一五、七五〇	四五三、三五〇
毛製品	三二〇、〇五〇	四〇〇、〇〇〇	—	七二〇、〇五〇
金銀類	二五、一二〇	二六九、三五〇	三〇、七五〇	五八五、〇二〇
藥品	一〇〇、三五〇	二四〇、四〇〇	—	三四〇、七五〇
医療機械	一五、〇〇〇	五〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	七五、〇〇〇
米	一六〇、〇〇〇	四〇〇、〇〇〇	—	五六〇、〇〇〇
砂糖	五〇、〇〇〇	二五〇、〇〇〇	—	三〇〇、〇〇〇
生糸	八四〇、〇〇〇	七四〇、五〇〇	—	一、五八〇、五〇〇
絹物	四〇五、〇〇〇	四三八、七五〇	五〇、〇〇〇	九三三、七五〇

莫大小	一一九、〇〇〇	一一〇、三五五	五八、〇〇〇	二八七、三五五
皮革製品	二八五、〇〇〇	一〇三、二二七	二三八、六四〇	六二六、八六七
雜貨	一〇三、五〇〇	八五、〇一〇	二九、一五〇	二〇七、六六〇
其他	一五〇、〇〇〇	一六六、二〇〇	—	三一六、二〇〇
計	四六九、一〇二	五五八、五三二	九七、六四二	一、一二五、二七六

大坂對露貿易未決済額

氏名	品目	個入取引			計
		引渡済	引渡済	輸送中	
太田良三郎	綿糸在箱		三〇八、〇〇〇	二九、〇〇〇	三三七、〇〇〇
増田合名会社	金屑等類		三七〇、〇〇〇		三七〇、〇〇〇
暴防水和金賣場	防水布			一二九、〇〇〇	一二九、〇〇〇
乾印兵衛	藥品		二二五、九六〇	六〇、〇〇〇	二八五、九六〇
田中熊次	雜貨		三三三、八〇〇	三六、二四〇	三七〇、〇四〇
塩野義三郎	藥品	二五九、二八八	五七、三五〇	一一、〇〇〇	三八七、八三八
増田正雄	金屑等類		一九五、〇〇〇	一四、四八〇	二〇九、四八〇
三平株式會社	洋燭口金		七〇、五五〇	八、三〇〇	七八、八五〇
白井松若藏	医療器械	四、四四六	九五、五二〇		一〇〇、九六六
辻伊三郎	貝鉤等類		一五、〇〇〇	一〇、〇〇〇	二五、〇〇〇
花菱商會	貝鉤		一五、〇〇〇		一五、〇〇〇
中村儀助	貝鉤			一五、〇〇〇	一五、〇〇〇
西澤清次	綿糸		三〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇	三〇四、〇〇〇
岡繁藏	雜貨			二五、五〇〇	二五、五〇〇
上山靜藏	除虫粉		八三、〇〇〇	五、七六〇	八八、七六〇
服部合名会社	柳行李等		七、七五〇	七、九五〇	一五、七〇〇
益田太三郎	柳行李		八、九三〇		八、九三〇
富尾清太郎	時計等類		一、五九三		一、五九三
岡本洋行	齒科器具		一、五二〇		一、五二〇
乙宗源次郎	雜貨		三、〇〇〇		三、〇〇〇
川原儀大	柳行李		四、七八七	九、九六〇	一四、六四七

城田商會	注射器	三、五〇〇、〇〇〇	五、二七、一三三	五、二七、一三三	四、二二、三〇〇	四、二二、三〇〇
安住伊三郎	陸中粉	五、二七、一三三	五、二七、一三三	五、二七、一三三	五、二七、一三三	五、二七、一三三
東洋貿易組合	新貨	一、八八、四三三	一、八八、四三三	一、八八、四三三	一、八八、四三三	一、八八、四三三
上野藤三郎	新貨	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三
倉岡武藏	金貨	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三
ミツマ八商會	新貨	一、八八、四三三	一、八八、四三三	一、八八、四三三	一、八八、四三三	一、八八、四三三
竹内商店	新貨	六、六六、六六六	六、六六、六六六	六、六六、六六六	六、六六、六六六	六、六六、六六六
太田卯矢衛	貝類	一、八八、四三三	一、八八、四三三	一、八八、四三三	一、八八、四三三	一、八八、四三三
中島太三郎	金貨	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三
今永商會	新貨	一、八八、四三三	一、八八、四三三	一、八八、四三三	一、八八、四三三	一、八八、四三三
権田清輔	下	八、八八、八八八	八、八八、八八八	八、八八、八八八	八、八八、八八八	八、八八、八八八
本城真玄	廣貨	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三
吉阪商店	紙類	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三
植村米吉	紙類	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三
井上佐助	紙類	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三
小泉精三	紙類	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三
島商店	紙類	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三
前田泰藏	紙類	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三
岡田元吉	紙類	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三
合計		三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三

露園貿易個人貨物代金未決高款 公共團體、法人、個人取引分				和戸對露貿易の概要			
店名	金	金	金	金	金	金	金
三井商會					三三七一	四二	
丸井商會					二九五〇	五〇	
北風商店					一五五五	五〇	
新田橋商店					一〇九、五〇〇	〇〇	
何長商店					三〇、五〇〇	〇〇	
明輝社					五、〇〇〇	〇〇	
昭信洋行					一〇三、六〇〇	〇〇	
鈴木商店	新貨	八八二四	五九		二六、〇〇〇	〇〇	
〃	露貨	八四、〇〇〇	〇〇				
野崎商店		九、〇〇〇	〇〇				
湯島商店	露貨	一、六〇〇	〇〇				
新澤商店		一七、〇七九	二二		八、五五〇	〇〇	
文島商店		三三、三八四	八四		五、三三三	五〇	
長井商店	邦貨	一、五〇〇	〇〇				
〃	露貨	四六、〇〇〇	〇〇		一九、五五〇	〇〇	
三輪文商會		三九、五一一					
赤野商店		三八、〇〇〇			一六、三三〇	〇〇	
浅川商店		三七、五三八			四六、三三〇	〇〇	

(續前頁)

															日本貿易信託 株式會社	山本實業 株式會社	總計	右之通 て仕度あり
															邦貨	露貨		
															二四〇二	六九八	二四〇二	
															〇〇	〇〇	〇〇	
															邦貨	露貨		右之通 て仕度あり
															一七二五	一九五九		
															〇〇	〇〇	〇〇	
															〇〇	〇〇	〇〇	

(補公前 具 澤 察)

文書課長

大正六年七月十日 接受 82

清書 整理 原

大正六年七月九日 起草
同日 附

別紙

大正六年七月十二日 發送
主任

機密

通 達 二 九 號

主任

主管

次 占

市来大民過賓

幣 京 波 夏

日拂我元正青表り、国久件

事件、同、客月廿六、り、件、面、ハ、

大正六年七月

第二部 接達

外 務 省

全国對青貿易聯合會、長、係、理、

吉ニ、り、係、理、ノ、理、中、有、事、業、ノ、理、

ニ、先、省、ニ、言、ハ、様、ノ、係、理、者、リ、控、出、理、

タ、ん、趣、事、業、ノ、今、段、立、場、協、業、池、係、

領、事、リ、所、係、理、ノ、理、中、有、事、業、ノ、理、

財、務、ノ、理、中、有、事、業、ノ、理、中、有、事、業、ノ、理、

日、リ、リ、素、果、形、ノ、理、中、有、事、業、ノ、理、

利、回、ノ、理、中、有、事、業、ノ、理、中、有、事、業、ノ、理、

夏月田穀上市張新如申進乃如

注意
第地係領事及電中二六號
馬路廿一號

外務省

○
滿洲國
奉天省
大正六年七月
省長
張作霖

本野外務大臣
菊池總領事

第一六號

最近露債急激ニ下落セル結果在留邦商及
一般在留民、困意甚シキヲ以テ之ヲ慰藉方ニ
付居留民會及商會ヨリ請願アリ、其
要旨ハ對露貿易聯合會ヨリ滿洲商人
屬スル為替率決済額トシテ申告セル金額
ハ往拂済及仕拂未済、モノ各約一萬萬
円、トハ答ヘシ、其、答命ハ二百萬圓見當

大正六年七月十三日記錄第二部接受

ノ為替相場、下ニ行ハルル所ナリ、由來
ハモ、ナルガ為、内仕拂済ノ高約一千万
円乃々二千餘萬圓、為替決済ノ方法ナキ
シノ端地、因是ニシテ且相場ハ激落、
シテ將來トモ決済ハ不可能ニシテ決済ハ倒
産者續出免シス、其、沙カ、付一、最、對
露貿易聯合會ヨリ陳情セル圓拂露國
左、陳情ヲ以テ、至急決済ノ方法ヲ請ヒ
ラシムコト懇請、堪ヘ、又、二、前述ノ如キ資
金固定ノ事情、ハ、新、日本、ヨリ

張作霖

任人ヲナスコト不能ニシテ商人ノ手ヲ袖ニシテ
 日ヲ送クル外ナキ有様ナレハ若シテ急
 救済策トシテ前記未使済三千億萬留ノ
 願金證書又ハ公債ヲ担保トシ政府保護
 下ニ銀行ヲシテ現在露國公定率(三二五
 留見當)ヲ以テ之ニ相當ノ國債ノ貸出リ
 ナサレハ極少計額ヲ一將又(三)外國商
 口個人運金取扱手續甚多煩セシカルモノ在
 留或ハ困難一方ナリ然ルニ自若簡便ナル
 取扱手續制定方策ニ十月三十日議決

茅古五條提任曹請ノ件ニ有テモ取慮
 頗ビシタシト云フニ存
 以上陽達也凡所ハ何レモ事莫ク相違ナク請
 願ノ趣旨ハ理由アリト認メラルル所以上最
 中第二項自外ハ政府ニ對シ實行方ニ通
 達ヲ請願ノ趣旨ハ外ナラス亦二項ニ關シ
 之ハ既ニ政府保護下ニ露國大抵證券
 發行セラルル以上次第難點トノ一二モ思
 セラレ且申請者ハ公定率ト稱スルモ愈
 實出算所ノ際ハ五百留内外ノ率ニ至テ滿

足、貝上、有存留部人、懇情御諒察、
上特、御詮議、人、標、致、う、重、請、

第13542號

大正六年三月八日 接受

秘乙第三三三子

通第一課

商

大

蔵

省

十一月十二日通機密送第二一五號ヲ以テ關拂露國證券發行ノ件ニ關シ全
國對露貿易聯合會々長綿野吉二ヨリノ陳情ニ對スル當方詮議ノ成行並ニ
在浦鹽菊池總領事ノ稟請ニ對スル當省ノ意見問合相成候處對露貿易聯合
會ノ陳情ノ件ニ關シテハ本月二十四日秘乙第二一二三號大藏大臣ヨリ外
務大臣ヘ照會ニテ御了承相成度又留預金證書又ハ公債ヲ擔保トシ政府保
證ノ下ニ銀行ヲシテ邦貨資金ヲ貸出サシムルコトニ關スル菊池總領事申
越ノ件ハ留ノ暴落底止スル所ヲ知ラサル今日實行困難ト被存候右御了承
相成度此段及御回答候也

大正六年十二月七日

大藏次官 市來 乙彦



外務次官 幣原 喜重郎 殿

文書課長

大正六年三月十日 接受

97

大正六年三月十八日 起草
同 年 三月 十八日 附

大正六年三月十一日 發送済

機密

機密送第二八號

主任

主管 通商局長

在浦物 東池佐領事

市神方民

虎債下格ノ結果浦物主留邦人、
因悉救済ノ旨ニ付

事件、同ノ宗旨ナリ、茲ニ電ヲ一二六

外務省

号リ、今中東債ノ返済ハ大抵前ノ如
ク及多ク、亦多ク返済ナリ、留邦人
証書又ハ公債ヲ担保トシ、政府保証ナ
ル、銀行、ツラ、邦貨資金ヲ貸出サレ、
ト、因る者、官ノ申出ハ、留ノ果、底
止、今、亦、多ク、今、日、定、行、困、難、ナ、
因、各、者、多ク、亦、多ク、定、行、困、難、
申、出、ナ、
申、出、ナ、